

平成22年度第4四半期（1～3月）見通し

<工務店・販売店での需要予測>

平成22年度第4四半期(1～3月)に向けての需要予測が出揃った。昨年度ワースト記録を更新していた需要予測も、今年度に入りグラフが示す通りかなりの回復予測が表われ、締めくくりとしての第4四半期も更なる上昇回答が表われた。工務店段階での仕事量の見通しは▲4.8ポイントと第3四半期に比べると12.8ポイントも上昇し、販売店段階では▲1.2ポイントと11.8ポイントもの上昇予測が寄せられた。

過去2年間のグラフの推移を見ても大幅に工務店・販売店の仕事量は増えている事が明らかである。これは贈与税の非課税枠の拡大やフラット35Sの金利引下げ、住宅版エコポイント、リフォームの減税制度、長期優良住宅への補助金、あるいは地域材活用に対する木造住宅の補助金など住宅政策としての国の支援対策が追い風になっている事が理由として考えられる。

断熱材も次世代省エネ基準の住宅需要の増加で供給が追いつかない状況になっており長期優良住宅や住宅版エコポイント制度を背景に高機能商品の販売が好調になってきている。まさに量から質への時代に入ってきている事がうかがえる。

地域別の需要予測を見ると関東圏・中部・九州地区での需要予測の上昇が著しくなっているが、昨年に比べると全地域共かなりの仕事量の回復が表われていると言える。とは言え仕事量の見通しポイントはまだマイナスであり、平成23年度はプラスポイントでスタートできる事を願いたい。

<主要メーカーによる販売予測>

下記で示す通り主要メーカーによる第4四半期(1～3月)に向けての販売予測は、合板メーカー、木質建材メーカーは第3四半期の予測に比べると増加との回答が減少し、窯業・断熱メーカーと住設機器メーカーは逆に増加との回答が増えた。次世代省エネ基準住宅の増加に伴う断熱メーカーの増加予測や住宅版エコポイントの対象拡充や、住宅リフォーム支援制度により住設機器メーカーの予測が増加傾向にあるのは解るが、合板メーカーや木質建材メーカーの減少回答の増加は、来年度の新築住宅を占う上ではマイナス材料にも成りかねないため、注目したい部分と言える。(9ページ参照)

合板	： 増加予測 39.3%	前年並予測 33.8%	減少予測 26.9%
木質建材	： 増加予測 35.2%	前年並予測 36.4%	減少予測 28.4%
窯業・断熱	： 増加予測 63.5%	前年並予測 26.9%	減少予測 9.6%
住設機器	： 増加予測 60.1%	前年並予測 28.6%	減少予測 11.3%

<リフォームの現状>

13ページに示す通り工務店における月のリフォームの仕事量の割合は半分以上がリフォームとの回答が1280件を超え、全回答数に占める割合は43.1%と第3四半期とほぼ同じ回答になった。

全国的には、リフォーム事業としては北海道と四国を除きほとんどの地域がリフォームの増加を予測している。住宅版エコポイントの延長に伴い対象商品も拡大し、減税・補助・融資等の住宅リフォーム制度がもっと認知されれば今後のリフォーム物件の増加は期待できるはずである。

また700万戸を超えていると言われている空き家のリフォームを含め中古住宅の流通を促進させるためにも、リフォーム事業はまだまだ成長すると考えられる。

工務店様

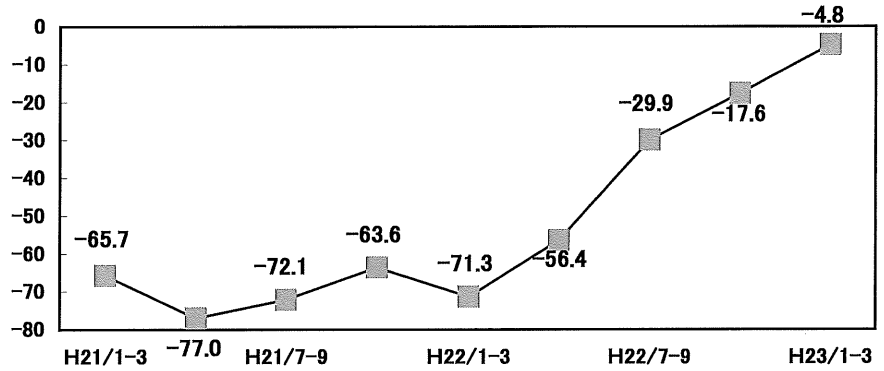
需要予測(1月~3月)

JK情報センター

景気動向の推移

過去2年間の仕事量の見通しをポイントで表したグラフ。

ポイント

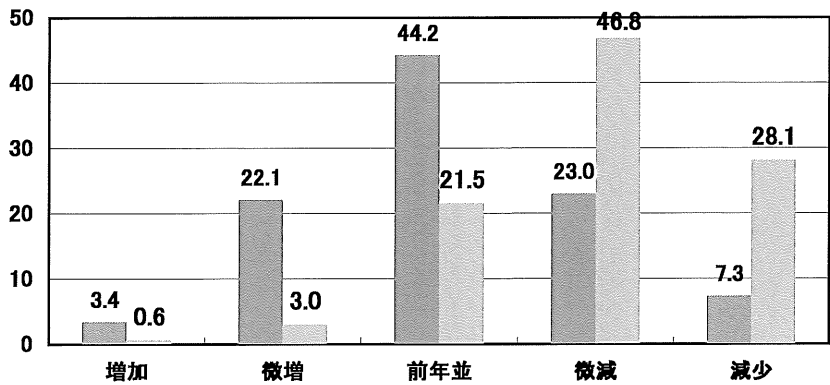


地域別需要予測

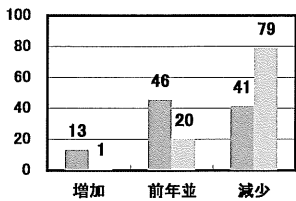
全国 回答数 2,972

「増加」「微増」「前年並」「微減」「減少」の中からお選び頂き、総回答数よりそれぞれの割合を算出致しました。単位は、「%」となります。

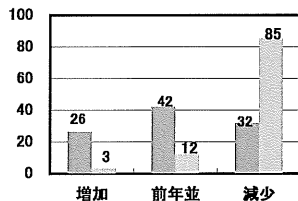
■ 平成22年度 第4四半期
■ 平成21年度 第4四半期



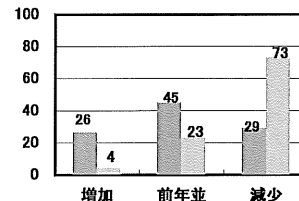
北海道



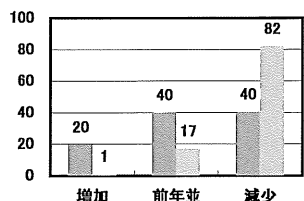
東北



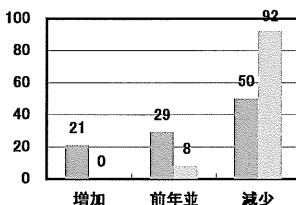
関東



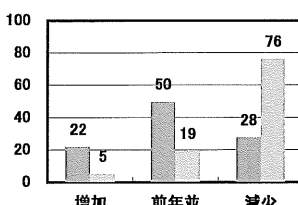
甲信越



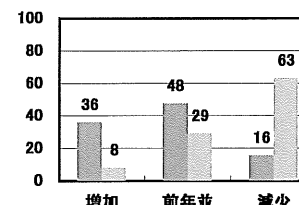
北陸



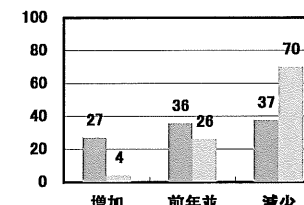
中部



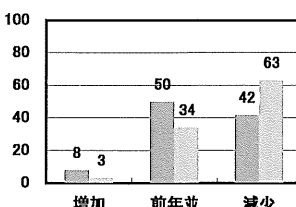
近畿



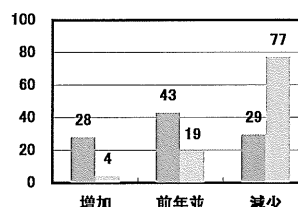
中国



四国



九州



<有効回答数>

北海道	167	中国	163
東北	316	四国	77
関東	1,088	九州	381
甲信越	198		
北陸	48		
中部	225		
近畿	309		

販売店様

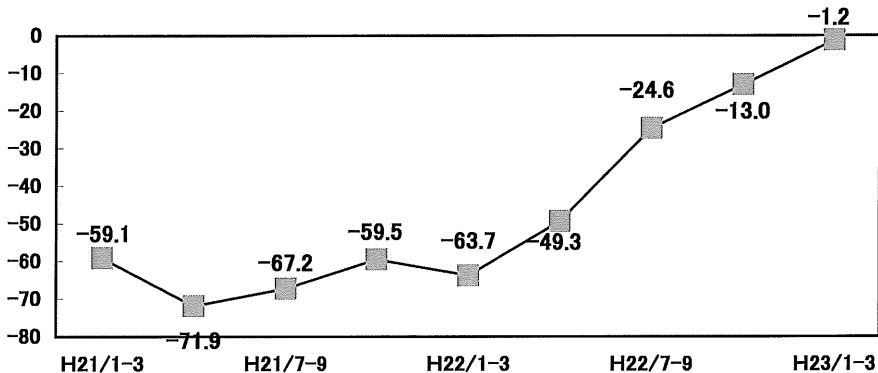
需要予測(1月~3月)

JK情報センター

景気動向の推移

過去2年間の仕事量の見通しをポイントで表したグラフ。

ポイント

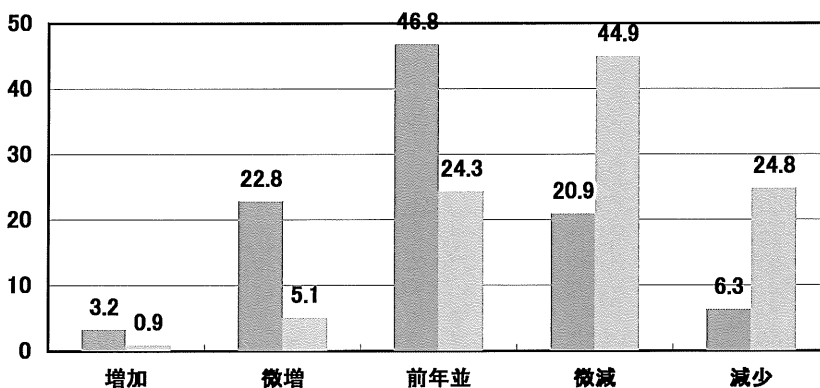


地域別需要予測

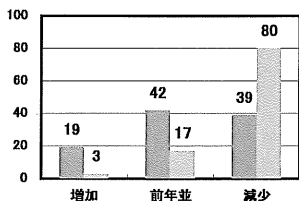
全国 回答数 2,979

「増加」「微増」「前年並」「微減」「減少」の中からお選び頂き、総回答数よりそれぞれの割合を算出致しました。単位は、「%」となります。

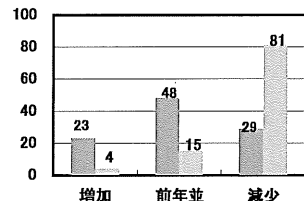
■ 平成22年度 第4四半期
■ 平成21年度 第4四半期



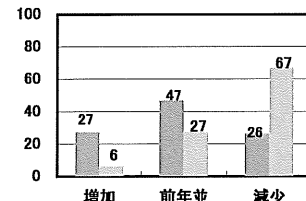
北海道



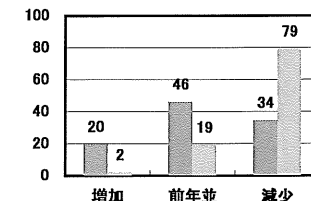
東北



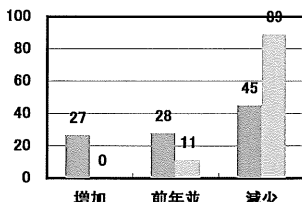
関東



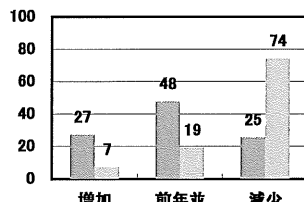
甲信越



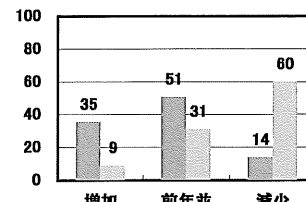
北陸



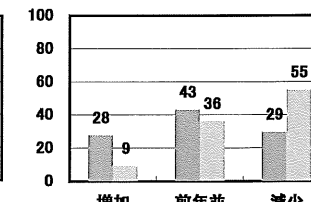
中部



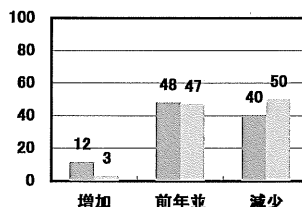
近畿



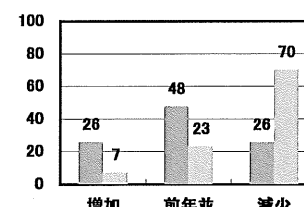
中国



四国



九州



<有効回答数>

北海道	167	中国	163
東北	318	四国	77
関東	1,092	九州	380
甲信越	198		
北陸	49		
中部	225		
近畿	310		